

開設母体

要件
工学システム学類

工学システム学類(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01131	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	河本 浩明	大学数学の基礎を学ぶ。数学リテラシー1では、集合と写像についての基本事項、2次の行列と一次変換などについて学ぶ。また、授業中に適宜演習を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること。工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01111の※と同じ。 専門導入科目(事前登録対象)対面
FA01141	数学リテラシー1	1	1.0	1	春A	火5 金3	井澤 淳	大学数学の基礎を学ぶ。数学リテラシー1では、集合と写像についての基本事項、2次の行列と一次変換などについて学ぶ。また、授業中に適宜演習を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01111を選択して登録すること。工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01111の※と同じ。 専門導入科目(事前登録対象)対面
FA01231	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5, 6	長谷川 学, 中尾 篤史, 松本 啓吾	大学数学の基礎を学ぶ。数学リテラシー2では、各種の空間图形、空間ベクトル、数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初步を学ぶ。また、授業中に適宜演習を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること。工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01211の※と同じ。 専門導入科目(事前登録対象)対面
FA01241	数学リテラシー2	1	1.0	1	春B	火5, 6	羽田野 祐子, 中尾 篤史, 松本 啓吾	大学数学の基礎を学ぶ。数学リテラシー2では、各種の空間图形、空間ベクトル、数列や関数の極限を厳密に議論するためのイプシロン・デルタ論法の初步を学ぶ。また、授業中に適宜演習を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01211を選択して登録すること。工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01211の※と同じ。 専門導入科目(事前登録対象)対面
FA01331	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	長谷川 学, 中尾 篤史, 松本 啓吾	1変数関数の微分法、積分法を中心に講述する。また、適宜演習を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること。工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01311の※と同じ。 専門導入科目(事前登録対象)対面
FA01341	微積分1	1	1.0	1	春BC	月2	羽田野 祐子, 中尾 篤史, 松本 啓吾	1変数関数の微分法、積分法を中心に講述する。また、適宜演習を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01311を選択して登録すること。工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01311の※と同じ。 専門導入科目(事前登録対象)対面
FA01431	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	掛谷 英紀	微積分1の続きを、多変数関数の微分法を中心に講述する。また、適宜演習を行う。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01411を選択して登録すること。工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01411の※と同じ。 専門導入科目(事前登録対象)対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01441	微積分2	1	1.0	1	秋AB	金3	新里 高行	微積分1の続きとして、多変数関数の微分法を中心 に講述する。また、適宜演習を行う。	履修する学生は事前登 録のメニューから科目 番号FA01411を選択し て登録すること。工学 システム学類(3,4クラ ス)の学生はこのクラス を受講すること。履 修条件はFA01411の※ と同じ。 専門導入科目(事前登 録対象) 対面
FA01531	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	掛谷 英紀	微積分1,2の続きとして、多変数関数の積分法を中 心に講述する。また、適宜演習を行う。	履修する学生は事前登 録のメニューから科目 番号FA01511を選択し て登録すること。工学 システム学類(1,2クラ ス)の学生はこのクラス を受講すること。履 修条件はFA01511の※ と同じ。 専門導入科目(事前登 録対象) 対面
FA01541	微積分3	1	1.0	1	秋C	水5 金3	新里 高行	微積分1,2の続きとして、多変数関数の積分法を中 心に講述する。また、適宜演習を行う。	履修する学生は事前登 録のメニューから科目 番号FA01511を選択し て登録すること。工学 システム学類(3,4クラ ス)の学生はこのクラス を受講すること。履 修条件はFA01511の※ と同じ。 専門導入科目(事前登 録対象) 対面
FA01631	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	河合 新	具体例を用いて、線形代数の抽象的な概念を理解 する。行列演算、連立1次方程式、行列式。	履修する学生は事前登 録のメニューから科目 番号FA01611を選択し て登録すること。工学 システム学類(1,2クラ ス)の学生はこのクラス を受講すること。履 修条件はFA01611の※ と同じ。 専門導入科目(事前登 録対象) 対面
FA01641	線形代数1	1	1.0	1	春BC	金3	井澤 淳	具体例を用いて、線形代数の抽象的な概念を理解 する。行列演算、連立1次方程式、行列式。	履修する学生は事前登 録のメニューから科目 番号FA01611を選択し て登録すること。工学 システム学類(3,4クラ ス)の学生はこのクラス を受講すること。履 修条件はFA01611の※ と同じ。 専門導入科目(事前登 録対象) 対面
FA01731	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	高谷 剛志	具体例を用いて、線形代数の抽象的な概念を理解 する。ベクトル、線形空間、線形写像。	履修する学生は事前登 録のメニューから科目 番号FA01711を選択し て登録すること。工学 システム学類(1,2クラ ス)の学生はこのクラス を受講すること。履 修条件はFA01711の※ と同じ。 専門導入科目(事前登 録対象) 対面
FA01741	線形代数2	1	1.0	1	秋AB	水5	塚田 正人	具体例を用いて、線形代数の抽象的な概念を理解 する。ベクトル、線形空間、線形写像。	履修する学生は事前登 録のメニューから科目 番号FA01711を選択し て登録すること。工学 システム学類(3,4クラ ス)の学生はこのクラス を受講すること。履 修条件はFA01711の※ と同じ。 専門導入科目(事前登 録対象) 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FA01831	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	川崎 真弘	具体例を用いて、線形代数の抽象的な概念を理解する。固有値・固有ベクトル、対称行列、2次形式との応用。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること。工学システム学類(1,2クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01811のと同じ。 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FA01841	線形代数3	1	1.0	1	秋C	月2 水4	塚田 正人	具体例を用いて、線形代数の抽象的な概念を理解する。固有値・固有ベクトル、対称行列、2次形式との応用。	履修する学生は事前登録のメニューから科目番号FA01811を選択して登録すること。工学システム学類(3,4クラス)の学生はこのクラスを受講すること。履修条件はFA01811の同じ。 専門導入科目(事前登録対象) 対面
FG10651	工学システム原論	1	1.0	2	春AB	金6	磯部 大吾郎, 蔵田 武志, 傳田 正利	工学システムに関わる技術者として必要とされる考え方について学ぶ。そのために学類で学習する分野を概観し、その中で技術者として考えるべき事柄を例示する。また、技術と社会の関わりについて述べる。	必修科目 対面(オンライン併用型)
FG10704	線形代数総論A	4	1.0	2	春AB	月1	森田 昌彦, 伊達 央, 若槻 尚斗, 中尾 篤史, 松本 啓吾, イム ユチャン	線形代数1, 2, 3の続きとして、講義と演習を通じて、線形代数についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。線形空間、基底と次元、線形写像と表現行列、などを扱う。	必修科目。確認テストは原則対面で実施。 オンライン(対面併用型)
FG10724	線形代数総論B	4	2.0	2	秋AB 春C秋C	月2 木2	森田 昌彦, 伊達 央, 若槻 尚斗, 中尾 篤史, 松本 啓吾, イム ユチャン	線形代数1, 2, 3および線形代数総論Aの続きをとて、講義と演習を通じて、線形代数についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。線形変換、内積空間、固有値と固有ベクトル、などを扱う。	必修科目。確認テストは原則対面で実施。 オンライン(対面併用型)
FG10744	解析学総論	4	1.0	2	春AB	金5	長谷川 学	微積分1, 2, 3の続きとして、講義と演習を通じて、実関数の微積分についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。関数と極限、微分、積分、偏微分、重積分、級数などを扱う。	必修科目。 対面
FG10764	常微分方程式	4	2.0	2	春AB	水3, 4	濱谷 長史, 武若 聰, 沢河 合新, 川崎 真弘	微分、積分法を基礎に、主として常微分方程式の解法について講述する。また適宜演習を行う。	必修科目 対面(オンライン併用型)
FG10784	複素解析	4	2.0	2	秋AB	木1, 2	井澤 淳, 鈴木 研悟, 望山 洋	複素関数論の講義と演習を行う。内容は複素数、正則関数、微分とコーシー・リーマンの関係式、積分とコーシーの積分公式、テーラ及びローラン展開、留数定理とその応用などである。	必修科目 対面
FG10814	力学総論	4	1.0	2	春AB	木2	松田 昭博, 大槻 浩司	力学1, 2, 3の続きとして、講義と演習を通じて、力学についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。質点の力学、仕事とエネルギー、剛体の力学、解析力学、などを扱う。	必修科目 対面(オンライン併用型)
FG10834	電磁気学総論	4	1.0	2	春BC	木6	小平 大輔, 横田 茂	電磁気学1, 2, 3の続きとして、講義と演習を通じて、電磁気学についての理解を深め定着を図る。講義には発展的な内容も含まれる。マクスウェル方程式の解釈、その展開としての物質中の電磁界および電磁波、などを扱う。	必修科目 オンライン(オンデマンド型)
FG10851	流体力学基礎	1	1.0	2	春AB	火2	藤野 貴康	粘性と流れ、定常流と非定常流、層流と乱流など様々な流れを概説する。また、数学的に記述するための座標系、速度、圧力などについて説明し、完全流体の力学(静水圧、質量保存則、ベルヌイの定理)等について講義する。	必修科目 対面
FG10864	材料力学基礎	4	1.0	2	春BC	火1	金久保 利之	弾性一次元部材に関して、部材の内力、変形、応力、歪に関する基礎的事項および諸定理等を紹介する。演習も行う。	必修科目 対面
FG10874	プログラミング序論A	4	2.0	2	春AB	金1, 2	宇津呂 武仁, 星野 准一, 蜂須 拓	講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。	必修科目 オンライン(オンデマンド型) 工学システム学類生に限る。
FG10904	プログラミング序論B	4	1.0	2	春C	金1, 2	北原 格, 蜂須 拓	講義と演習を通じてC言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。	必修科目 オンライン(対面併用型) 工学システム学類生に限る。
FG10911	熱力学基礎	1	1.0	2	春AB	金4	金川 哲也	熱力学の基本法則を中心に、熱力学の基礎を習得する。	必修科目 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG11011	計測工学	1	2.0	3・4	秋AB	金1,2	伊達 央	工業計測の基礎。SI単位系、各種物理量・工業量(長さ、変位、圧力、流量、時間、温度、電圧、電流など)の計測原理と計測装置。計測して得た信号の利用法など。	対面(オンライン併用型)
FG12011	バイオシステム基礎	1	2.0	2	秋AB	水1,2	河本 浩明, 上原皓, 斎木 臣二, 町野 毅	システム・情報科学、脳神経科学、システム生理学、医療福祉、生命科学、AIロボット、再生医療などが融合複合した「サイバニクス」を中心に新分野の基礎を習得する。	対面(オンライン併用型)
FG12021	材料学基礎	1	1.0	2	春C	木4,5	新宅 勇一	金属材料の基礎的な反応における結晶組織の変化を理解するために、代表的な結晶構造と状態図について概説する。	材料学I(FG42231, FG52231)履修者は履修不可 対面
FG13403	インターンシップ	3	1.0	3	通年	応談	山本 亨輔	企業、官公庁の研究所、非営利団体などの現場における工学系の就業体験を通じて、自らの能力涵養、適性の客観的評価を図るとともに、将来の進路決定に役立てる。開始前に受入先と学類の了解があることと、終了後速やかに報告書を学類に提出することが単位取得の条件。	工学システム学類学生に限る CDP 対面 担当: インターンシップ委員会履修方法等については掲示等でアナウンスするので、必ず確認すること
FG16011	宇宙工学	1	1.0	1・2	秋AB	木4	横田 茂, 藤野 貴康, 大門 優, 龍田 敏弘, 有田 誠, 水谷 忠均, 橋本 博文, 山浦 雄一, 新館 恭嗣, 福田 盛介	衛星などの宇宙応用、打ち上げ用ロケットなどから将来の宇宙空間での生活環境まで宇宙科学の工学側面を多数の専門家により講義形式で講述する。	世話人: 横田 対面
FG16043	コンテンツ工学システム	3	1.0	1~3	春ABC	金4	橋本 悠希, 謝 淳, 延原 肇, 若槻 尚斗	コンテンツ工学技術(CG, VR・デバイス、音楽・映像メディア、自然言語処理、ウェブ検索サービスなど)とコンテンツ表現法の基礎を学んで、独自のコンテンツを作成する一連のプロセスを体験します。工学、芸術・デザイン、ビジネスなどの異種分野の協調も重視します。	講義および実習を通じて、データ・AI活用企画・実施・評価に関する知識習得を目指す。 2020、2021年度開講のコンテンツ表現工学の単位修得者は履修不可。 対面 半分以上授業を対面で実施する。詳細はmanabaを参照。希望者多数で定員を超えた場合は、人数制限をすることがあります。
FG16051	工学システム概論	1	1.0	1	春B	NT	磯部 大吾郎	工学システムの現状について幾つかの分野を選んで概説し、それ等を通して工学システムにおいて必要とされる基本的な考え方について学ぶ。	2019年度、2020年度入学者の工学システム学類生で、工学システム概論(FG10641)の単位未修得の者は、この科目を履修すること。 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)
FG16403	アカデミック・インターンシップ	3	1.0	3	通年	応談	山本 亨輔	自らの能力涵養、適性の客観的評価を図るとともに、将来の進路決定に役立てることを目的として、他大学、官公庁の研究所、非営利団体などの現場における工学系の研究体験を行う。あるいは、海外で開催される国際会議に参加し、研究発表ならびに情報収集を行うとともに、参加者との交流等を通じて見聞を広める。なお、研究体験の場合は、開始前に受入先と学類の了解があることと、終了後速やかに報告書を学類に提出することが単位取得の条件。	工学システム学類学生に限る CDP 対面 担当: インターンシップ委員会履修方法等については掲示等でアナウンスするので、必ず確認すること
FG16567	研究者体験2026	7	1.0	1~3	春A 春B 春C 秋A 秋B 秋C 夏季休業中	集中	善甫 啓一, 中務孝, 棚橋 沙由理, 土井 裕人, 土方裕子, 蔵満 司夢, 川口 一画	ARE(先導的研究者体験プログラム)に採択された研究課題を実施することを通じて、研究者に必要とされる論理的な文章の書き方や研究計画について学ぶ。実習では起業体験者の話を聞いて起業を身近なこととして捉えるとともに、研究発表会に参加して研究遂行に必要な技術を習得するとともにコミュニケーション能力を伸ばす。	ARE(先導的研究者体験プログラム)採択者 対面(オンライン併用型)
FG16666	宇宙開発工学演習2026	6	2.0	2・3	通年	随時	亀田 敏弘	小型衛星開発プロジェクトに携わり宇宙開発工学に必要な理論と技術を実践的に習得する。夏季に海外大学生とプロジェクトに関する意見交換を含む海外短期派遣を実施する。	対面(オンライン併用型)
FG17011	電気回路	1	2.0	2	秋BC	木5,6	秋元 祐太朗	電気・電子回路の基礎知識、解析法等について講義する。線形受動素子、正弦波交流と複素数表示、インピーダンスとアドミッタンス、共振回路、相互誘導回路、ブリッジ回路、フィルタ、一般回路の定理、交流電力。	対面
FG17031	確率統計	1	2.0	2	春AB	火3,4	古賀 弘樹	工学システムを解析する上で有力な道具となる確率論と統計学の基礎を講義する。	対面
FG17061	応用数学A	1	2.0	2	春AB 春C	木1 水3,4	金川 哲也, 山本 亨輔	理工学の諸分野で必要とされる数学的手法であるベクトル解析、フーリエ解析、ラプラス変換との応用について講義する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG18101	工学者のための倫理	1	1.0	4	春AB	木5	山本 亨輔, 大槻 浩司, 井澤 淳, 千葉 建	事例に基づいたグループディスカッションやロールプレイングを通じ、工学者の持つべき倫理観・価値観について考える。	必修科目 CDP 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG18102	専門英語A	2	1.0	2	春AB	木5	ヤエム ヴィボル, グエン チエト ヴアン, バラダス ピクター	工学システム学類生が1,2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ、主に英語による授業を行う。	必修科目。2年1,2クラス対象 対面
FG18112	専門英語A	2	1.0	2	春AB	木5	ヤエム ヴィボル, グエン チエト ヴアン, バラダス ピクター	工学システム学類生が1,2年で学ぶ数学や工学テーマを取り上げ、主に英語による授業を行う。	必修科目。2年3,4クラス対象。 対面
FG19103	工学システム基礎実験A	3	2.0	2	春ABC	月3-5	中内 靖, 藤野 浩司, 上原 皓, 星野 准一, 濵谷 長史, 高谷 剛志, 山口 友之, 橋本 悠希, 文字 秀明, 金久保 利之, 八十島 章, 山本 亨輔, 松島 亘志, 武若 啓, 磯部 大吾郎, 松田 昭博, 三目 直登, 塚田 正人, 謝 淳, 中尾 篤史, 新里 高行	動的システム、回路とコンピュータ、センサとアクチュエータ、機構、固体の力学、流体の粘性、温度の計測など、幾つかの基本的なテーマで実験を行い、基本法則、実験技術、レポートの作成方法について学ぶ。さらに製図の基礎についてもこの中で実習する。	必修科目工学システム学類生に限る世話人：山口, 八十島 対面
FG19113	工学システム基礎実験B	3	2.0	2	秋ABC	月3-5	中内 靖, 藤野 浩司, 上原 皓, 星野 准一, 濵谷 長史, 高谷 �剛志, 山口 友之, 橋本 悠希, 文字 秀明, 金久保 利之, 八十島 章, 山本 亨輔, 松島 亘志, 武若 啓, 磯部 大吾郎, 松田 昭博, 三目 直登, 塚田 正人, 謝 淳, 中尾 篤史, 新里 高行	動的システム、回路とコンピュータ、センサとアクチュエータ、機構、固体の力学、流体の粘性、温度の計測など、幾つかの基本的なテーマで実験を行い、基本法則、実験技術、レポートの作成方法について学ぶ。さらに製図の基礎についてもこの中で実習する。	必修科目工学システム学類生に限る世話人：山口, 八十島 対面
FG19208	卒業研究A	8	4.0	4	春ABC	随時	工学システム学類各教員	指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。	必修科目 対面
FG19218	卒業研究B	8	4.0	4	秋ABC	随時	工学システム学類各教員	研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。	必修科目 対面
FG19228	卒業研究a	8	4.0	4	秋ABC	随時	工学システム学類各教員	指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。	学類長が認めたもの。 必修科目 (本科目または卒業研究Aを履修) 対面
FG19238	卒業研究b	8	4.0	4	春ABC	随時	工学システム学類各教員	研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。	学類長が認めたもの。 必修科目 (本科目または卒業研究Bを履修) 対面
FG19348	特別卒業研究B	8	4.0	3	秋ABC	随時	工学システム学類各教員	研究計画書を踏まえて卒業研究を進める。卒業論文の題目を決定し、登録する。卒業研究の研究内容を卒業論文にまとめ、提出する。卒業研究発表会において、卒業研究の研究内容を説明する。	早期卒業生対象 対面
FG19358	特別卒業研究A	8	4.0	3	春ABC	随時	工学システム学類各教員	指導教員の指導のもと、研究計画を立案する。立案された計画をまとめた「研究計画書」を作成し、その内容を発表する。	早期卒業生対象 対面

工学システム学類(知的工学システム/知的・機能工学システム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG20204	プログラミング序論C	4	2.0	2	秋AB	金1,2	橋本 悠希, ハサン モダル	C言語によるプログラミングを例として、非数値的な処理のアルゴリズムやデータ構造について学ぶ。	FG30204と同一。 オンライン(オンデマンド型) 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 工学システム学類生に限る。他学類生が受講する場合は担当教員と相談すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG20214	プログラミング序論D	4	1.0	2	秋C	金1, 2	亀田 能成	講義や演習を通じて、C言語のプログラミング技術やライブラリの使い方を学ぶ。	FG30214と同一。 対面 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 工学システム学類生に限る。
FG20222	専門英語B	2	1.0	2	秋AB	金4	黒田 嘉宏, 河合 新	知的・機能工学システム主専攻生を対象に、工学分野の専門的な授業を英語で行う。	主専攻必修科目。 FG30222と同一。 対面
FG20232	専門英語演習	2	1.0	3	春AB	木4	中内 靖, 山口 友之	英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い、リスニング、語彙、語法、読解等の能力の強化を行う。	主専攻必修科目。工学システム学類生に限る。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG30232と同一。 対面
FG21261	機械設計	1	2.0	2	秋BC	水3, 4	山口 友之, 江並 和宏	機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面、機械要素、運動伝達装置などについて説明する。	FG31261, FG41641, FG51641と同一。 対面
FG21311	フィードバック制御	1	2.0	3・4	春BC	木1, 2	望山 洋, 河合 新	システム制御の基礎的考え方から始め、動的因素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念、制御系の解析方法(周波数特性、安定性)などを学ぶ。	FG31311, FG41251, FG51251と同一。 対面
FG21321	線形システム制御	1	2.0	3・4	春BC	金3, 4	グエン チエト ヴァン	状態方程式に基づく制御理論と制御システムの設計法について述べる。動的システムの表現法、状態フィードバック制御、状態オブザーバ、動的出力フィードバック制御、制御系の実装など。	FG31321と同一。 対面
FG21331	信頼性工学	1	2.0	3	秋BC	火3, 4	岡島 敬一	機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として、確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し、設計、製造、運用へ反映させる手法について講義する。	FG31331, FG41581, FG51581と同一。 対面
FG22291	メカトロニクス機構解析	1	2.0	2	秋AB	水5, 6	相山 康道, 矢野 博明	機械システム設計に欠かせない、機械の構造を表すモデル(機構)の種類やそれらの基礎的な動作解析手法について解説する。また、メカトロニクスに題材を絞り、材料力学、材料学の基礎を学ぶ。部材のたわみの計算、質量でたわみを小さくする方法などを併せて演習も行う。	FG32291と同一。 対面
FG23381	研究・開発原論	1	2.0	3	秋AB	火5, 6	善甫 啓一, 三浦 茂美, 野呂瀬 葉子, 石田 尚	工学システム学類の学生が卒業後(含修士修了後)に從事するであろうと思われる国の機関、民間企業等の研究・開発体制の概要を平易に解説する。この際、数回の事例研究を実習することによって理解の促進を図るとともに、研究環境整備や工業所有権の知的財産権の重要性と問題点等についても言及する。一部、ビデオ教材の使用や外部講師による講演を実施する。	FG33381と同一。 対面(オンライン併用型)
FG23411	情報通信システム論I	1	1.0	3・4	春AB	集中	小原 寿美子, 田中 宏和, 古賀 弘樹, 萩原 淳一郎, 井手 口 恒太, 山本 秀人	移動通信の技術、誤り訂正符号、暗号、情報技術に関する知的財産権など、情報通信システムに関するいくつかのトピックスについて、学外の研究者・技術者を招き講義を行う。	FG33411と同一。 対面 世話人:古賀
FG23471	情報通信システム論II	1	1.0	3・4	秋AB	集中	片桐 祥雅, 桑木 伸夫, 海老原 格, 西村 仁志, 伊藤 智史	光ファイバ、マルチメディア情報処理、無線アンテナ、生体における情報通信など、情報通信に関するいくつかのトピックスについて、学外の研究者・技術者を招き講義を行う。	FG33471と同一。 対面 世話人:海老原
FG24221	論理回路	1	2.0	2	秋AB	火1, 2	宇津呂 武仁	目的:論理回路の解析と設計法について講述する。内容:ブール代数、組合せ回路、記憶素子、順序回路、計算機各種構成要素、論理システム。	FG34221と同一。 オンライン(同時双方向型)
FG24241	離散数学	1	2.0	2	秋AB	火3, 4	延原 肇	工学的なシステムを構築する上で重要な基礎となる離散数学を講義する。集合、論理、グラフ、代数系、関係、束論の基礎および応用についての知識を、講義および演習を通して身につける。	FG34241と同一。 対面
FG24284	数值解析	4	2.0	3	秋AB	木1, 2	黒田 嘉宏	連立一次方程式、常微分方程式、偏微分方程式の計算機による解析方法と、その誤差解析を解説する。また演習により実際にプログラミングをおこなう。	FG34284と同一。 対面
FG24301	知情報処理	1	2.0	3	秋AB	水3, 4	井澤 淳, 濃谷 長史	生体における情報処理システムとして脳の認識系・記憶系・運動系などを取り上げ概説する。また、知情報処理の一つとして機械学習の基礎について講義する。	FG34301と同一。 対面(オンライン併用型)
FG24331	ディジタル信号処理	1	2.0	3	春AB	金1, 2	若槻 尚斗	信号処理の基礎理論と代表的な算法について概説する。主な内容は、線形システムの考え方、信号の時間・周波数表現、サンプリング定理、フーリエ変換、Z変換、FFT、デジタルフィルタ等。	FG34331と同一。 対面
FG24341	電子回路	1	2.0	3	春AB	月1, 2	前田 祐佳	アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は、ダイオード、トランジスタ、FETの素子特性、小信号増幅回路、帰還回路、電力増幅回路、OPアンプ回路、発振回路など。	FG34341, FG44731, FG54731と同一。 対面
FG24361	システム最適化	1	2.0	3	春AB	火1, 2	高安 亮紀, 遠藤 靖典	システムの表現、評価手法、制約条件が与えられたとき、目的関数を最適化するための基本的な数理的技法(LP, NLP, 組み合わせ最適化など)について講義する。	FG34361と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG24371	画像処理	1	2.0	3	秋AB	月1,2	北原 格	画像処理の基礎について述べる。画像の入力・記述。图形の表現・変換・表示について学ぶ。	FG34371と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG24381	ヒューマンインターフェース	1	2.0	3	春AB	金1,2	黒田 嘉宏	ヒューマンインターフェースとは人間を中心とした工学システムのあり方を考える学問である。人間のモデル化手法を紹介した後で、各種のインターフェースのシステム構築法について論じる。	FG34381と同一。 対面
FG24391	人工知能	1	2.0	3	春AB	水1,2	田中 文英	人工知能に関する基本的な事項について概説する。古典的な人工知能から、近年の深層学習、大規模言語モデル、生成AIに到るまで、手法の応用を含めて説明する。	FG34391と同一。 対面
FG24421	情報理論	1	2.0	3	秋BC	金3,4	古賀 弘樹	情報の圧縮、伝送、暗号化などの概念をシャノン理論に基づいて解説する。	FG34421と同一。 対面
FG24434	システムダイナミックス	4	2.0	3	秋AB	火1,2	薮野 浩司	初年級の数学、物理学をベースに、力学系の取り扱いについて講述する。また適宜演習を行う。	FG34434と同一。 実務経験教員 対面
FG24481	通信工学	1	2.0	3	春AB	金5,6	海老原 格	様々な技術の融合体である通信システムに着目し、その要素技術であるチャネルの特性、伝送方式、伝送制御、信号処理について講述する。	FG34481と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FG24491	コンピュータとネットワーク	1	2.0	2	秋AB	金5,6	延原 肇, 上原 皓	コンピュータの動作原理と各構成要素の構造/動作を学ぶ。またコンピュータを管理するソフトウェアであるオペレーティングシステム、および複数のコンピュータを接続するネットワークの構造と動作についても学ぶ。	FG34491と同一。 実務経験教員 対面
FG24711	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3	春AB	水3,4	亀田 能成	非数値的な処理のプログラミングにおいて、様々なデータ構造とアルゴリズムにおける処理の方法とその効率について学ぶ。	FG34711と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FG24741	メカトロニクス機能要素概論	1	2.0	3	秋AB	金3,4	境野 翔	メカトロニクス技術をサポートする機能技術要素を解説し、自動作業をする機械装置や生産設備の設計などの基礎となる内容を学習する。	FG34741と同一。 対面(オンライン併用型)
FG24781	応用数学B	1	1.0	2	秋A	木5,6	高安 亮紀, 松田 昭博	工学へ応用される数学、いわゆる応用数学の中から、偏微分方程式を中心に講述する。固体や流体の力学、その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため、偏微分方程式は応用上も極めて重要である。事前に「微積分1」「微積分2」「微積分3」「常微分方程式」を履修済であることが望ましいが、既習事項は本講義内で適宜補うため、必須ではない。	FG34781, FG44391, FG54391と同一。 対面
FG25361	パターン認識	1	2.0	3	秋AB	水5,6	掛谷 英紀	パターン認識の基本的手法(幾何的手法、統計的手法、学習アルゴリズム、時系列パターンの認識など)を順に解説する。	FG35381と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG25374	応用プログラミング	4	2.0	3	秋BC	水1,2	星野 准一	オブジェクト指向の基本理念をオブジェクト指向プログラミング言語の講義と演習により修得させる。	FG35904と同一。 実務経験教員 オンライン(同時双方向型)
FG25391	機械学習A	1	1.0	3・4	秋C	火5,6	手塚 太郎	機械学習の基本概念を確率論や情報理論を基礎として学ぶ。線形回帰を発展させた構造としてのニューラルネットワークを捉える。深層学習の基礎となる勾配降下法と誤差逆伝播法について理解する。	FG35391と同一。 対面
FG25401	機械学習B	1	1.0	3・4	秋C	水5,6	手塚 太郎	機械学習において現在もっとも広く使われている手法のひとつである深層学習の特性を学ぶ。畳み込みニューラルネットワークやリカレントネットワークなどの代表的なネットワーク構造について、それらがどのような強みと限界を持っているのかを知る。さらに変分オートエンコーダや深層強化学習など、特定のタスクに対する深層学習の利用についても理解を深める。	FG35401と同一。 対面
FG25411	ニューロエンジニアリング基礎	1	-	-	秋C	火1,2	井澤 淳, 手塚 太郎, 川崎 真弘, ブエンテス サンドラ, ミレイナ, バラダス ビクター		
FG25901	ロボット工学	1	2.0	3	春AB	金5,6	鈴木 健嗣	「ロボット」に関わる理論、要素技術とその集積、システムの目的と実現法について論じる。ここでは、マニュビレータや移動ロボットに関する運動のメカニズムと動力学など、3次元空間における動作と作業に関する基本理論から、視覚、カセンサなどロボット用のセンサ技術、行動の計画と実行、ロボット言語とコントローラ、及び人間機械系の設計など、ロボットの知能化技術について講義する。	FG35371と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG29213	知的・機能工学システム実験	3	6.0	3	春ABC 秋ABC 秋ABC	火3-5 木3-5 金5, 6	矢野 博明, 北原 格, 若槻 尚斗, 延原 肇, 前田 祐佳, 河合 新, 相山 康道, 鈴木 健嗣, 海老原 格, 善甫 啓一, 家永 直人, ヤエム ヴィボル, 蜂須 拓	春ABC火345, 秋ABC 木345は、制御系設計、システムの最適化、センサとディジタル信号処理、センサとアナログ信号処理、画像処理、メカトロニクスなどに関する実験を行う。秋ABC金56は、複数の実験テーマから一つを選択して、秋学期を通してテーマ毎にこれまでに修得した広範囲な工学知識を基に、具体的なシステムをデザインする能力を養う。そして、デザインしたシステムを複数のメンバーと協調して完成させる過程で、チームとして特定のプロジェクトをマネジメントする力を養成する。 最終的に提出される課題(レポートやプレゼンテーション)により実験成果を評価する。	工学システム学類生に限る FG39213と同一。 対面 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 世話人:矢野。

工学システム学類(機能工学システム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG30204	プログラミング序論C	4	2.0	2	秋AB	金1, 2	橋本 悠希, ハサン モダル	C言語によるプログラミングを例として、非数值的な処理のアルゴリズムやデータ構造について学ぶ。	FG20204と同一。 オンライン(オンライン型) 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 工学システム学類生に限る。他学類生が受講する場合は担当教員と相談すること。
FG30214	プログラミング序論D	4	1.0	2	秋C	金1, 2	亀田 能成	講義や演習を通じて、C言語のプログラミング技術やライブラリの使い方を学ぶ。	FG20214と同一。 対面 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 工学システム学類生に限る。
FG30222	専門英語B	2	1.0	2	秋AB	金4	黒田 嘉宏, 河合 新	知的・機能工学システム主専攻生を対象に、工学分野の専門的な授業を英語で行う。	主専攻必修科目。 FG20222と同一。 対面
FG30232	専門英語演習	2	1.0	3	春AB	木4	中内 靖, 山口 友之	英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い、リスニング、語彙、語法、読解等の能力の強化を行う。	主専攻必修科目。工学システム学類生に限る。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG20232と同一。 対面
FG31261	機械設計	1	2.0	2	秋BC	水3, 4	山口 友之, 江並 和宏	機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面、機械要素、運動伝達装置などについて説明する。	FG21261, FG41641, FG51641と同一。 対面
FG31311	フィードバック制御	1	2.0	3・4	春BC	木1, 2	望山 洋, 河合 新	システム制御の基礎的考え方から始め、動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念、制御系の解析方法(周波数特性、安定性)などを学ぶ。	FG21311, FG41251, FG51251と同一。 対面
FG31321	線形システム制御	1	2.0	3・4	春BC	金3, 4	グエン チエト ヴァン	状態方程式に基づく制御理論と制御システムの設計法について述べる。動的システムの表現法、状態フィードバック制御、状態オブザーバ、動的出力フィードバック制御、制御系の実装など。	FG21321と同一。 対面
FG31331	信頼性工学	1	2.0	3	秋BC	火3, 4	岡島 敬一	機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として、確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し、設計、製造、運用へ反映させる手法について講義する。	FG21331, FG41581, FG51581と同一。 対面
FG32291	メカトロニクス機構解析	1	2.0	2	秋AB	水5, 6	相山 康道, 矢野 博明	機械システム設計に欠かせない、機械の構造を表すモデル(機構)の種類やそれらの基礎的な動作解析手法について解説する。また、メカトロニクスに題材を絞り、材料力学、材料学の基礎を学ぶ。部材のたわみの計算、軽量でたわみを小さくする方法など。併せて演習も行う。	FG22291と同一。 対面
FG33381	研究・開発原論	1	2.0	3	秋AB	火5, 6	善甫 啓一, 三浦 茂美, 野呂瀬 葉子, 石田 尚	工学システム学類の学生が卒業後(含修士修了後)に从事するであろうと思われる国際機関、民間企業等の研究・開発体制の概要を平易に解説する。この際、数回の事例研究を実習することによって理解の促進を図るとともに、研究環境整備や工業所有権の知的財産権の重要性と問題点等についても言及する。一部、ビデオ教材の使用や部外講師による講演を実施する。	FG23381と同一。 対面(オンライン併用型)
FG33411	情報通信システム論I	1	1.0	3・4	春AB	集中	小原 寿美子, 田中 宏和, 古賀 弘樹, 萩原 淳一郎, 井手 口 恒太, 山本 秀人	移動通信の技術、誤り訂正符号、暗号、情報技術に関する知的財産権など、情報通信システムに関するいくつかのトピックスについて、学外の研究者・技術者を招き講義を行う。	FG23411と同一。 対面 世話人:古賀
FG33471	情報通信システム論II	1	1.0	3・4	秋AB	集中	片桐 祥雅, 桑木 伸夫, 海老原 格, 西村 仁志, 伊藤 智史	光ファイバ、マルチメディア情報処理、無線アンテナ、生体における情報通信など、情報通信に関するいくつかのトピックスについて、学外の研究者・技術者を招き講義を行う。	FG23471と同一。 対面 世話人:海老原
FG34221	論理回路	1	2.0	2	秋AB	火1, 2	宇津呂 武仁	目的:論理回路の解析と設計法について講述する。内容:ブール代数、組合せ回路、記憶素子、順序回路、計算機各種構成要素、論理システム。	FG24221と同一。 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG34241	離散数学	1	2.0	2	秋AB	火3, 4	延原 肇	工学的なシステムを構築する上で重要な基礎となる離散数学を講義する。集合、論理、グラフ、代数系、関係、束論の基礎および応用についての知識を、講義および演習を通して身につける。	FG24241と同一。 対面
FG34284	数値解析	4	2.0	3	秋AB	木1, 2	黒田 嘉宏	連立一次方程式、常微分方程式、偏微分方程式の計算機による解析方法と、その誤差解析を解説する。また演習により実際にプログラミングをおこなう。	FG24284と同一。 対面
FG34301	知情的情報処理	1	2.0	3	秋AB	水3, 4	井澤 淳, 濵谷 長史	生体における情報処理システムとして脳の認識系・記憶系・運動系などを取り上げ概説する。また、知情的情報処理の一つとして機械学習の基礎について講義する。	FG24301と同一。 対面(オンライン併用型)
FG34331	デジタル信号処理	1	2.0	3	春AB	金1, 2	若槻 尚斗	信号処理の基礎理論と代表的な算法について概説する。主な内容は、線形システムの考え方、信号の時間・周波数表現、サンプリング定理、フーリエ変換、Z変換、FFT、デジタルフィルタ等。	FG24331と同一。 対面
FG34341	電子回路	1	2.0	3	春AB	月1, 2	前田 祐佳	アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は、ダイオード、トランジスタ、FETの素子特性、小信号増幅回路、帰還回路、電力増幅回路、OPアンプ回路、発振回路など。	FG24341, FG44731, FG54731と同一。 対面
FG34361	システム最適化	1	2.0	3	春AB	火1, 2	高安 亮紀, 遠藤 靖典	システムの表現、評価手法、制約条件が与えられたとき、目的関数を最適化するための基本的な数理的技法(LP, NLP, 組み合わせ最適化など)について講義する。	FG24361と同一。 対面
FG34371	画像処理	1	2.0	3	秋AB	月1, 2	北原 格	画像処理の基礎について述べる。画像の入力・記述。図形の表現・変換・表示について学ぶ。	FG24371と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG34381	ヒューマンインターフェース	1	2.0	3	春AB	金1, 2	黒田 嘉宏	ヒューマンインターフェースとは人間を中心とした工学システムのあり方を考える学問である。人間のモデル化手法を紹介した後で、各種のインターフェースのシステム構築法について論じる。	FG24381と同一。 対面
FG34391	人工知能	1	2.0	3	春AB	水1, 2	田中 文英	人工知能に関する基本的な事項について概説する。古典的な人工知能から、近年の深層学習、大規模言語モデル、生成AIに到るまで、手法の応用を含めて説明する。	FG24391と同一。 対面
FG34421	情報理論	1	2.0	3	秋BC	金3, 4	古賀 弘樹	情報の圧縮、伝送、暗号化などの概念をシャノン理論に基づいて解説する。	FG24421と同一。 対面
FG34434	システムダイナミックス	4	2.0	3	秋AB	火1, 2	藪野 浩司	初年級の数学、物理学をベースに、力学系の取り扱いについて講述する。また適宜演習を行う。	FG24434と同一。 実務経験教員 対面
FG34481	通信工学	1	2.0	3	春AB	金5, 6	海老原 格	様々な技術の融合体である通信システムに着目し、その要素技術であるチャネルの特性、伝送方式、伝送制御、信号処理について講述する。	FG24481と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FG34491	コンピュータとネットワーク	1	2.0	2	秋AB	金5, 6	延原 肇, 上原 皓	コンピュータの動作原理と各構成要素の構造/動作を学ぶ。またコンピュータを管理するソフトウェアであるオペレーティングシステム、および複数のコンピュータを接続するネットワークの構造と動作についても学ぶ。	FG24491と同一。 実務経験教員 対面
FG34711	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3	春AB	水3, 4	亀田 能成	非数値的な処理のプログラミングにおいて、様々なデータ構造とアルゴリズムにおける処理の方法とその効率について学ぶ。	FG24711と同一。 オンライン(オンデマンド型)
FG34741	メカトロニクス機能要素概論	1	2.0	3	秋AB	金3, 4	境野 翔	メカトロニクス技術をサポートする機能技術要素を解説し、自動作業をする機械装置や生産設備の設計などの基礎となる内容を学習する。	FG24741と同一。 対面(オンライン併用型)
FG34781	応用数学B	1	1.0	2	秋A	木5, 6	高安 亮紀, 松田 昭博	工学へ応用される数学、いわゆる応用数学の中から、偏微分方程式を中心に講述する。固体や流体の力学、その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため、偏微分方程式は応用上も極めて重要である。事前に「微積分1」「微積分2」「微積分3」「常微分方程式」を履修済であることが望ましいが、既習事項は本講義内で適宜補うため、必須ではない。	FG24781, FG44391, FG54391と同一。 対面
FG35371	ロボット工学	1	2.0	3	春AB	金5, 6	鈴木 健嗣	「ロボット」に関わる理論、要素技術とその集積、システムの目的と実現法について論じる。ここでは、マニピュレータや移動ロボットに関する運動のメカニズムと動力学など、3次元空間における動作と作業に関する基本理論から、視覚、センサなどロボット用のセンサ技術、行動の計画と実行、ロボット言語とコントローラ、及び人間機械系の設計など、ロボットの知能化技術について講義する。	FG25901と同一。 対面(オンライン併用型)
FG35381	パターン認識	1	2.0	3	秋AB	水5, 6	掛谷 英紀	パターン認識の基本的手法(幾何的手法、統計的手法、学習アルゴリズム、時系列パターンの認識など)を順に解説する。	FG25361と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG35391	機械学習A	1	1.0	3・4	秋C	火5, 6	手塚 太郎	機械学習の基本概念を確率論や情報理論を基礎として学ぶ。線形回帰を発展させた構造としてのニューラルネットワークを捉える。深層学習の基礎となる勾配下降法と誤差逆伝播法について理解する。	FG25391と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG35401	機械学習B	1	1.0	3・4	秋C	水5, 6	手塚 太郎	機械学習において現在もっとも広く使われている手法のひとつである深層学習の特性を学ぶ。畳み込みニューラルネットワークやリカレントネットワークなどの代表的なネットワーク構造について、それらがどのような強みと限界を持っているのかを知る。さらに変分オートエンコーダや深層強化学習など、特定のタスクに対する深層学習の利用についても理解を深める。	FG25401と同じ。 対面
FG35904	応用プログラミング	4	2.0	3	秋BC	水1, 2	星野 淳一	オブジェクト指向の基本理念をオブジェクト指向プログラミング言語の講義と演習により修得させる。	FG25374と同じ。 実務経験教員 オンライン(同時双方 向型)
FG39213	知的・機能工学システム実験	3	6.0	3	春ABC 秋ABC 秋ABC	火3-5 木3-5 金5, 6	矢野 博明, 北原 格, 若槻 尚斗, 延 原 肇, 前田 祐佳, 河合 新, 相山 康 道, 鈴木 健嗣, 海 老原 格, 善甫 啓 一, 家永 直人, ヤエム ヴィボル, 蜂須 拓	春ABC火345, 秋ABC 木345は、制御系設計、システムの最適化、センサとディジタル信号処理、センサとアナログ信号処理、画像処理、メカトロニクスなどに関する実験を行う。秋ABC56は、複数の実験テーマから一つを選択して、秋学期を通してテーマ毎にこれまでに修得した広範囲な工学知識を基に、具体的なシステムをデザインする能力を養う。そして、デザインしたシステムを複数のメンバーと協調して完成させる過程で、チームとして特定のプロジェクトをマネジメントする力を養成する。 最終的に提出される課題(レポートやプレゼンテーション)により実験成果を評価する。	工学システム学類生に 限る FG29213と同じ。 対面 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号 で履修登録すること。 世話人:矢野。

工学システム学類(環境開発工学/エネルギー・メカニクス)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG40222	専門英語B	2	1.0	2	秋AB	金5	武若 聰, 浅井 健彦	演習を中心として、工学分野における英語力を高め、英語でプレゼンテーションを行いレポートを作成する能力を養うことを目的とする。	主専攻必修科目。 FG50222と同じ。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。 提出物により成績を定めることを基本とする。期末試験を行う場合には回目の講義で説明する。
FG40232	専門英語演習	2	1.0	3	春AB	木3	沈 鹏	英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い、リスニング、語彙、語法、読解等の能力の強化を行う。	主専攻必修科目。工学システム学類生に限る。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG50232と同じ。 対面 主専攻必修科目。
FG40354	数値計算法	4	3.0	2	秋ABC	火1, 2	松田 哲也, 三目 直登, 森田 直樹	科学技術計算の基礎である、連立一次方程式、固有値問題、数値微分、数値積分、微分方程式等の解法を座学とプログラミングで学ぶ。また、数値計算ソフトウェアを利用し、問題解決する能力を培う。ここで作成する各種プログラムは、サブルーチンとして後の計算機応用科目で利用することがある。	主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG50354と同じ。 対面(オンライン併用型)
FG41251	フィードバック制御	1	2.0	3・4	春BC	木1, 2	望山 洋, 河合 新	システム制御の基礎的考え方から始め、動的要素のモデル化及び特性の表現方法(伝達関数)フィードバックの概念、制御系の解析方法(周波数特性、安定性)などを学ぶ。	FG21311, FG31311, FG51251と同じ。 対面
FG41581	信頼性工学	1	2.0	3	秋BC	火3, 4	岡島 敬一	機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として、確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し、設計・製造・運用へ反映させる手法について講義する。	FG21331, FG31331, FG51581と同じ。 対面
FG41631	機器運動学	1	1.0	3	春AB	木4	磯部 大吾郎	自動車、船舶、航空機、スペースブレーンおよびロケットなどの輸送機器を中心に、物体の3次元運動の力学について概説する。	FG51631と同じ。 対面
FG41641	機械設計	1	2.0	2	秋BC	水3, 4	山口 友之, 江並 和宏	機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面、機械要素、運動伝達装置などについて説明する。	FG21261, FG31261, FG51641と同じ。 対面
FG42251	コンクリート工学	1	2.0	3	春AB	月5, 6	金久保 利之	主要な構造用材料の一つであるコンクリートの構成材料(セメント、骨材、混和材料、水)、製造方法、諸性質、施工等に関する基礎的事項を、実際に構造物あるいは部材を設計・施工する観点に立って講述する。	対面
FG42271	応用材料学	1	1.0	2	秋C	月1, 2	新宅 勇一	材料の巨視的な変形挙動と微視的なメカニズムの関係について概説し、さらに材料強度を決定づける破壊挙動に関して紹介する。	FG52271と同じ。 対面
FG42281	電磁材料学	1	1.0	3	秋C	月5, 6	山浦 一成, 藤野 貴康	電気・電子分野で使用されている材料物性を理解するための基礎理論、材料の種類と性質、その使われ方について概説する。	FG42281と同じ。 FG52281と同じ。 オンライン(オンデマンド型) 電気学会寄付講義。世話人:藤野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG42621	複合材料学	1	2.0	3	春AB	金3, 4	松田 昭博	異なる材料を上手に組み合わせることによって、より優れた性能を示す新しい材料を設計することができる。この授業では、複合材料の機械的性質、設計解析および応用に関する基礎事項を学習する。	FG52621と同一。 対面
FG43651	産業技術論I	1	1.0	3	春B	集中	小島 康平, 横田 茂	工業製品の例として、ロケットエンジンを題材に、おもに工学的な視点から、製品に求められる機能やその機能が必要とされる考え方を紹介する。	FG53651と同一。 対面 世話人:横田
FG43661	産業技術論II	1	1.0	3	春C	集中	牛島 栄, 篠田 昇二, 武若 聰, 児玉 哲哉	「生産技術による製品革新」と題してマーケットやユーザのニーズの変化と、それを製品に具現化するための製品技術および生産技術に関する話題を種々の具体例を通して紹介する。また、企業の環境への取り組みの実態についても紹介する。特に、建設系および機械系産業界における各種技術開発の仕組みについて現状を説明し、持続可能な循環型社会の構築に向けた社会基盤整備および次世代の技術開発の方向性についても解説する。	FG53661と同一。 対面(オンライン併用型) 世話人:武若
FG43811	設計計画論	1	1.0	3	秋A	火3, 4	武若 聰, 金久保 利之, 篠崎 由依	社会基盤整備事業および建築構造物を対象とし、計画段階から、設計、契約、施工を経て維持管理までの流れについて概説するとともに、一連の過程における設計・計画に関する基本的事項や考え方を学ぶ。	2019年度以降の入学者対象。設計計画論(FG43821)履修者は履修不可。 対面(オンライン併用型)
FG44361	エネルギー工学のための物理化学	1	1.0	2	秋A	水5, 6	秋元 祐太朗	環境・エネルギー分野にとって物質を構成している原子・分子をミクロな視点で見ることは非常に大切である。本講義では原子の構造や化学結合、分子運動や状態変化などについて理解が深まるよう、量子論の基礎事項について概説する。	FG54361と同一。 対面 2024年度まで開講された 物理化学概論(FG44361, FG54361)の単位を修得した者は履修できない。 FG54361と同一。 対面
FG44391	応用数学B	1	1.0	2	秋A	木5, 6	高安 亮紀, 松田 昭博	工学へ応用される数学、いわゆる応用数学の中から、偏微分方程式を中心にして講述する。固体や流体の力学、その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため、偏微分方程式は応用上でも極めて重要である。事前に「微積分1」「微積分2」「微積分3」「常微分方程式」を履修済であることが望ましいが、既習事項は本講義内で適宜補うため、必須ではない。	FG24781, FG34781, FG54391と同一。 対面
FG44411	熱工学	1	1.0	2	秋C	金1, 2	大門 優	基礎科目としての熱力学の内容を前提とし、その応用(エンジン、圧縮機など)と発展(不可逆性、実在気体、エクセルギなど)について学ぶ。演習も含む。	FG54411と同一。 対面
FG44421	応用熱力学	1	2.0	2	秋AB	金1, 2	金川 哲也	熱力学基礎からさらに踏み込んで、エンジンと自由エネルギーが主役を演ずる単元を中心に学ぶ。	FG54421と同一。 対面(オンライン併用型)
FG44691	伝熱工学	1	2.0	3	春AB	水5, 6	金子 晃子	伝熱の基礎現象として、定常伝導、非定常伝導、強制対流熱伝達、自然対流熱伝達、沸騰熱伝達、凝縮熱伝達、ふく射熱伝達などについて概説する。さらに、応用機器として、熱交換機について基礎的事項を説明する。	FG54691と同一。 対面
FG44701	気体力学	1	1.0	3	秋AB	月5	横田 茂	圧縮性流体の力学について学ぶ。音速、マッハ数、垂直衝撃波、ラバールノズルの断熱流など、高速流体力学の基礎を講述し、航空工学、ロケット工学への応用について触れる。	FG54701と同一。 対面
FG44731	電子回路	1	2.0	3	春AB	月1, 2	前田 祐佳	アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は、ダイオード、トランジスタ、FETの素子特性、小信号增幅回路、帰還回路、電力增幅回路、OPアンプ回路、発振回路など。	FG24341, FG34341, FG54731と同一。 対面
FG45434	構造力学I	4	2.0	2	秋BC	火5, 6	八十島 章	建築物、橋などの構造設計の際に必要となる、トラス、ラーメンなどの構造骨組が地震、風、自重などの外力を受けたときに柱、梁などの構造部材に生じる応力、変形を求める方法について、演習を行ながり解説する。	FG55434と同一。 対面(オンライン併用型)
FG45441	パワーエレクトロニクス	1	2.0	3	春AB	火1, 2	安芸 裕久	家電製品から電力系統まで広く応用されているパワーエレクトロニクスについて、その基礎・原理、デバイス、変換回路および応用の実例について解説する。	FG55441と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG45451	土質力学	1	2.0	3	春AB	金5, 6	松島 宜志	土の基本特性、土の中の水、地盤内の応力分布、土の圧密など、土質力学の基礎的知識について講述する。	対面(オンライン併用型)
FG45564	応用材料力学I	4	1.0	2	秋A	金3, 4	金久保 利之, 森田 直樹	弾性性状における不静定梁の応力、変形、長柱の座屈、棒材のねじり、エネルギーに関する諸定理等を紹介する。演習も行う。	FG55564と同一。 対面
FG45581	応用流体力学	1	2.0	2	秋AB	火3, 4	金川 哲也	連続体力学の一部としての流体力学を講述する。質量・運動量・エネルギーの保存則を表現する偏微分方程式を基軸に議論を進める。Newton流体の運動を記述するNavier-Stokes方程式を導き、流体のさまざまな運動を数理的に調べる。	FG55581と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG45604	応用材料力学II	4	2.0	2	秋BC	金3, 4	亀田 敏弘, 西尾 真由子	応力とひずみの一般的な記述とそれらの関係(構成方程式)について述べる。また各種工学材料の力学的性質についても学ぶ。材料力学Iで学んだ棒材の力学をより一般的な立場から見直す。板の2次元問題も紹介する。	FG55604と同一。 対面
FG45611	振動工学	1	3.0	2	秋ABC	水1, 2	庄司 学, 松田 哲也, 浅井 健彦	構造物や機械の自由振動と強制振動に関する基礎理論を質点系、多質点系、及び、連続体(弦、はり、膜)の順番で学習する。工学上重要な共振や振動モードの考え方を修得することがポイントとなる。また、ハミルトンの原理とラグランジュの方程式、及び、回転体の振動に関する応用的な内容についても学習する。	FG55611と同一。 対面
FG45721	構造力学II	1	2.0	3	秋AB	金3, 4	磯部 大吾郎	建設・土木、機械・航空・エネルギーなどの分野で重要な構造要素であるはり、板などにより構成された構造物を対象とした変位法について学ぶ。また、変位法の中でも近似解法の一種である有限要素法について学び、実習を行う。	FG55721と同一。 対面
FG45751	防災工学	1	2.0	3	秋AB	木1, 2	庄司 学, 八十島 章	建物や社会基盤施設等の構造システムの防災・減災に直結した、地震、強風、降雨等による大きな外乱に対する広範囲な工学知識を得させ、大きな外乱とそれを受ける構造システムの被害を定量的に捉えるための、確率・統計理論をベースとした専門知識を講述する。	対面
FG45774	電力工学	4	2.0	3	秋AB	月1, 2	安芸 裕久, 小平 大輔	電力系統(発電端から需要端まで)を対象として、主に電力輸送およびそれに伴う諸現象を解析的に理解することを目的とし、送電線・変圧器の等価回路、単位法や潮流計算を中心、電力系統の定常特性および電圧・無効電力制御の基礎を講義する。	FG55774と同一。 実務経験教員 対面
FG45781	電磁力工学	1	2.0	2	秋BC	水5, 6	藤野 貴康	工学分野における電磁力応用の基礎について学ぶ。電気・力学系、電磁流体力学(MHD)、MHD加速・発電などの基礎を理解する。	FG55761と同一。 対面
FG45791	鉄筋コンクリート構造学	1	1.0	3	秋AB	金5	八十島 章	鉄筋コンクリート構造の力学的性質と構造特性を解説する。主要な構造部材である柱、梁、耐震壁、柱梁接合部などの部材性状と抵抗機構について講義する。また、鉄筋コンクリート造建物の構造設計の基本的な考え方についても解説する。	対面(オンライン併用型)
FG45801	鋼構造学	1	1.0	3	秋AB	金6	山本 亨輔	鋼材の種類と機械的性質、建築架構の種類と特徴。中心圧縮柱の座屈、梁の横座屈、板要素の座屈、引張、圧縮、曲げ、せん断等に対する構造部材の設計、ボルト、溶接接合、鋼製橋の設計。	対面(オンライン併用型)
FG45831	地盤工学	1	1.0	3	秋AB	水1	松島 宜志	土のせん断強度、土圧、地盤の支持力、斜面安定、基礎工、液状化、環境問題など、土質力学および地盤工学の基礎的知識について講述する。	FG45771履修者は履修不可。 対面(オンライン併用型)
FG45851	流体工学	1	2.0	3	春BC	金1, 2	文字 秀明, 白川 直樹	管路および開水路内の非圧縮性流体の流れについて講述する。	FG55851と同一。 対面
FG45861	エネルギー機器学	1	2.0	3	秋AB	水5, 6	金子 晴子, 文字 秀明	発電所などの大規模集中型エネルギー施設や冷凍・空調・コジェネレーションなどの小型分散型エネルギー設備などのエネルギー機器において用いられるポンプ・タービンなどのターボ機械やボイラ・熱交換機器などの熱機器の動作原理や熱流体現象について学ぶ。	FG55861と同一。 対面
FG45871	水素エネルギー工学	1	1.0	3	秋BC	火5	岡島 敬一	水素エネルギー利用システムにおいてキーテクノロジーとなる燃料電池に関して、原理、電気化学に基づいた理想効率・起電力の計算方法、電圧-電流特性を理解するとともに、実際の機器としての応用と最新の動向を学ぶことを目的とする。	FG45871と同一。 FG55871と同一。 実務経験教員 対面
FG45876	建築設計製図I	6	3.0	3・4	春ABC	水5, 6	浅井 健彦, 金久保 利之, 八十島 章	具体的な課題による、建築構造物の設計・製図演習を行う。本講義では、木造建築物を主体とする。	対面
FG45881	燃焼工学	1	2.0	3	秋AB	火1, 2	大門 優	燃焼の基礎と応用を学ぶ。特に、火炎の基本的性質や汚染物質の生成機構、各種内燃機関中で生じる燃焼現象について詳しく解説する。	FG55881と同一。 対面
FG45886	建築設計製図II	6	2.0	3・4	秋AB	月1, 2	金久保 利之, 八十島 章, 浅井 健彦	具体的な課題による建築構造物の設計・製図演習を行う。本講義では鉄筋コンクリート造建築物(集合住宅を含む)を対象とする。	対面
FG45896	建築設計製図III	6	2.0	3・4	秋C	月1-4	金久保 利之, 八十島 章, 浅井 健彦	具体的な課題による建築構造物の設計・製図演習を行う。本講義では鉄筋コンクリート造建築物を主体とする。	対面
FG45901	建築設備	1	2.0	3・4	秋BC	火1, 2	北原 博幸, 金久保 利之	建築設備の基礎理論を論じるとともに、設備の種類と各種設備機器の機能を解説する。空気調和設備、給排水衛生設備などの計画・設計法の概要を理解させるとともに、地球環境時代における建築設備と持続可能性の関係について考察する。	対面 世話人:金久保
FG45911	建築環境工学	1	2.0	2・4	春AB	月1, 2	北原 博幸, 金久保 利之	建築環境工学の基礎理論を論じるとともに、熱・空気・音・光環境の快適性を解説する。快適な建築環境の形成技術を理解させるとともに、地球環境時代における建築環境計画手法と持続可能なライフスタイルについて考察する。	FG55911と同一。 対面 世話人:金久保
FG46781	環境リモートセンシング	1	1.0	3	秋AB	水2	武若 聰, 駿河 哲哉, 亀井 雅敏	リモートセンシングの原理、応用などについて概説する。大気圈、陸域、水域環境などの解析事例を学び、リモートセンシングの有用性を理解する。	FG56781と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG46791	地圏気圏の環境論	1	1.0	3	秋AB	水3	羽田野 祐子	環境問題一般についての基礎知識を身につけ、自然環境における物質移動に関する工学的手法について学ぶ。	FG56791と同一。 対面
FG46801	水環境論	1	2.0	3	春AB	水1, 2	白川 直樹	河川を中心とした水環境について、自然の特性、人間の働きかけ、そして両者の関係という三つの面から学ぶ。	BC12521と同一。 対面
FG46821	エネルギー学入門	1	2.0	3	春AB	水3, 4	鈴木 研悟	世界が持続可能な発展を遂げていくためには経済成長の中で、省資源と環境保全を図る社会を築いていくことが求められている。本講義では、世界およびわが国のエネルギー・環境問題を、資源、経済、環境の点から多角的・総合的に理解し、エネルギー・環境面から持続可能な社会発展の方向性とこれを実現するための技術開発のあり方について学ぶ。	FG56821と同一。 対面
FG49873	エネルギー・メカニクス専門実験	3	3.0	3	春ABC	火3-6	白川 直樹, 金子 晓子, 藤野 貴康, 秋元 祐太朗, 庄司 学, 松田 哲也, 西尾 真由子, 金川 哲也, 森田 直樹, 安芸 裕久, 大門 優	固体材料、流体、熱流体、燃料電池、内燃機関の実験を実施する。実験の計画、データの整理、結果の考察をレポートにまとめる演習を行う。	工学システム学類生に限る。 FG59873と同一。 対面 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 世話人:白川直樹
FG49883	エネルギー・メカニクス応用実験	3	3.0	3	秋ABC	木3-6	新宅 勇一, 鹿田 敏弘, 横田 茂, 大栗 浩司, 鈴木 研悟, 小平 大輔	システム及び機器のデザイン能力・チームワーク力を養うために、小型エネルギー・システムの設計・製作・運用、マイコン制御の自律飛行船の設計・製作・運用を行う。	工学システム学類生に限る。 FG59883と同一。 対面 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 主専攻必修科目。 世話人:鹿田敏弘

工学システム学類(エネルギー工学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG50222	専門英語B	2	1.0	2	秋AB	金5	武若 聰, 浅井 健彦	演習を中心として、工学分野における英語力を高め、英語でプレゼンテーションを行いレポートを作成する能力を養うことを目的とする。	主専攻必修科目。 FG40222と同一。 対面(オンライン併用型) 主専攻必修科目。 提出物により成績を定めることを基本とする。期末試験を行う場合には1回目の講義で説明する。
FG50232	専門英語演習	2	1.0	3	春AB	木3	沈 鵬	英語運用能力の測定手段であるTOEIC対策用の教材を用い、リスニング、語彙、語法、読解等の能力の強化を行う。	主専攻必修科目。工学システム学類生に限る。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG40232と同一。 対面 主専攻必修科目。
FG50354	数値計算法	4	3.0	2	秋ABC	火1, 2	松田 哲也, 三目 直登, 森田 直樹	科学技術計算の基礎である、連立一次方程式、固有値問題、数値微分、数値積分、微分方程式等の解法を座学とプログラミングで学ぶ。また、数値計算ソフトウェアを利用し、問題解決する能力を培う。ここで作成する各種プログラムは、サブルーチンとして後の計算機応用科目で利用することがある。	主専攻必修科目。所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 FG40354と同一。 対面(オンライン併用型)
FG51251	フィードバック制御	1	2.0	3・4	春BC	木1, 2	望山 洋, 河合 新	システム制御の基礎的考え方から始め、動的要素のモデル化及び特性的表現方法(伝達関数)フィードバックの概念、制御系の解析方法(周波数特性、安定性)などを学ぶ。	FG21311, FG31311, FG41251と同一。 対面
FG51581	信頼性工学	1	2.0	3	秋BC	火3, 4	岡島 敬一	機械や構造物をシステム全体としてできるだけ低コストで正常に機能させることを目的として、確率・統計論に基づいて各構成要素やシステムが正常に機能する性質(信頼性)を定量的に評価し、設計、製造、運用へ反映させる手法について講義する。	FG21331, FG31331, FG41581と同一。 対面
FG51631	機器運動学	1	1.0	3	春AB	木4	磯部 大吾郎	自動車、船舶、航空機、スペースブレーンおよびロケットなどの輸送機器を中心に、物体の3次元運動の力学について概説する。	FG41631と同一。 対面
FG51641	機械設計	1	2.0	2	秋BC	水3, 4	山口 友之, 江並 和宏	機械システムの設計と実装の手法について紹介する。機械図面、機械要素、運動伝達装置などについて説明する。	FG21261, FG31261, FG41641と同一。 対面
FG52271	応用材料学	1	1.0	2	秋C	月1, 2	新宅 勇一	材料の巨視的な変形挙動と微視的なメカニズムの関係について概説し、さらに材料強度を決定づける破壊挙動に関して紹介する。	FG42271と同一。 対面
FG52281	電磁材料学	1	1.0	3	秋C	月5, 6	山浦 一成, 藤野 貴康	電気・電子分野で使用されている材料物性を理解するための基礎理論、材料の種類と性質、その使われ方について概説する。	FG42281と同一。 FG42281と同一。 オンライン(オンライン型) 電気学会寄付講義。世話人:藤野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG52621	複合材料学	1	2.0	3	春AB	金3, 4	松田 昭博	異なる材料を上手に組み合わせることによって、より優れた性能を示す新しい材料を設計することができます。この授業では、複合材料の機械的性質、設計解析および応用に関する基礎事項を学習する。	FG42621と同一。 対面
FG53651	産業技術論I	1	1.0	3	春B	集中	小島 康平, 横田 茂	工業製品の例として、ロケットエンジンを題材に、おもに工学的な視点から、製品に求められる機能やその機能が必要とされる考え方を紹介する。	FG43651と同一。 対面 世話人:横田
FG53661	産業技術論II	1	1.0	3	春C	集中	牛島 栄, 篠田 昇二, 武若 聰, 児玉 哲哉	「生産技術による製品革新」と題してマーケットやユーザのニーズの変化と、それを製品に具現化するための製品技術および生産技術に関する話題を種々の具体例を通して紹介する。また、企業の環境への取り組みの実態についても紹介する。特に、建設系および機械系産業界における各種技術開発の仕組みについて現状を説明し、持続可能な循環型社会の構築に向けた社会基盤整備および次世代の技術開発の方向性についても解説する。	FG43661と同一。 対面(オンライン併用型) 世話人:武若
FG54361	エネルギー工学のための物理化学	1	1.0	2	秋A	水5, 6	秋元 祐太朗	環境・エネルギー分野にとって物質を構成している原子・分子をミクロな視点で見ることは非常に大切である。本講義では原子の構造や化学結合、分子運動や状態変化などについて理解が深まるよう、量子論の基礎事項について概説する。	FG54361と同一。 対面 2024年度まで開講された 物理化学概論 (FG44361, FG54361) の単位を修得した者は履修できない。 FG44361と同一。 対面
FG54391	応用数学B	1	1.0	2	秋A	木5, 6	高安 亮紀, 松田 昭博	工学へ応用される数学、いわゆる応用数学の中から、偏微分方程式を中心講述する。固体や流体の力学、その工学応用分野の基礎方程式が偏微分方程式で与えられているため、偏微分方程式は応用上も極めて重要である。事前に「微積分1」「微積分2」「微積分3」「常微分方程式」を履修済であることが望ましいが、既習事項は本講義内で適宜補うため、必須ではない。	FG24781, FG34781, FG44391と同一。 対面
FG54411	熱工学	1	1.0	2	秋C	金1, 2	大門 優	基礎科目としての熱力学の内容を前提とし、その応用(エンジン、圧縮機など)と発展(不可逆性、実在気体、エクセルギなど)について学ぶ。演習も含む。	FG44411と同一。 対面
FG54421	応用熱力学	1	2.0	2	秋AB	金1, 2	金川 哲也	熱力学基礎からさらに踏み込んで、エンジニアリングと自由エネルギーが主役を演ずる単元を中心に学ぶ。	FG44421と同一。 対面(オンライン併用型)
FG54691	伝熱工学	1	2.0	3	春AB	水5, 6	金子 晃子	伝熱の基礎現象として、定常熱伝導、非定常熱伝導、強制対流熱伝達、自然対流熱伝達、沸騰熱伝達、凝縮熱伝達、ふく射熱伝達などについて概説する。さらに、応用機器として、熱交換機について基礎的事項を説明する。	FG44691と同一。 対面
FG54701	気体力学	1	1.0	3	秋AB	月5	横田 茂	圧縮性流体の力学について学ぶ。音速、マッハ数、垂直衝撃波、ラバールノズルの断熱流など、高速流体力学の基礎を講述し、航空工学、ロケット工学への応用についても触れる。	FG44701と同一。 対面
FG54731	電子回路	1	2.0	3	春AB	月1, 2	前田 祐佳	アナログ電子回路に関する講義(一部演習)を行う。主な内容は、ダイオード、トランジスタ、FETの素子特性、小信号増幅回路、帰還回路、電力増幅回路、OPアンプ回路、発振回路などを。	FG24341, FG34341, FG44731と同一。 対面
FG55434	構造力学I	4	2.0	2	秋BC	火5, 6	八十島 章	建築物、橋などの構造設計の際に必要となる、トラス、ラーメンなどの構造骨組が地震、風、自重などの外力を受けたときに柱、梁などの構造部材に生じる応力、変形を求める方法について、演習を行なながら解説する。	FG45434と同一。 対面(オンライン併用型)
FG55441	パワーエレクトロニクス	1	2.0	3	春AB	火1, 2	安芸 裕久	家電製品から電力系統まで広く応用されているパワーエレクトロニクスについて、その基礎・原理、デバイス、変換回路および応用の実例について解説する。	FG45441と同一。 実務経験教員 対面(オンライン併用型)
FG55564	応用材料力学I	4	1.0	2	秋A	金3, 4	金久保 利之, 森田 直樹	弾性性状における不静定梁の応力、変形、長柱の座屈、棒材のねじり、エネルギーに関する諸定理等を紹介する。演習も行う。	FG45564と同一。 対面
FG55581	応用流体力学	1	2.0	2	秋AB	火3, 4	金川 哲也	連続体力学の一部としての流体力学を講述する。質量・運動量・エネルギーの保存則を表現する偏微分方程式を基軸に議論を進める。Newton流体の運動を記述するNavier-Stokes方程式を導き、流体のさまざまな運動を数理的に調べる。	FG45581と同一。 対面(オンライン併用型)
FG55604	応用材料力学II	4	2.0	2	秋BC	金3, 4	龜田 敏弘, 西尾 真由子	応力とひずみの一般的な記述とそれらの関係(構成方程式)について述べる。また各種工学材料の力学的性質についても学ぶ。材料力学Iで学んだ棒材の力学をより一般的な立場から見直す。板の2次元問題も紹介する。	FG45604と同一。 対面
FG55611	振動工学	1	3.0	2	秋ABC	水1, 2	庄司 学, 松田 哲也, 浅井 健彦	構造物や機械の自由振動と強制振動に関わる基礎理論を1質点系、多質点系、及び、連続体(弦、はり、膜)の順番で学習する。工学上重要な共振や振動モードの考え方を修得することがポイントとなる。また、ハミルトンの原理とラグランジュの方程式、及び、回転体の振動に関わる応用的な内容についても学習する。	振動工学I, 振動工学II 履修者は履修不可。 FG45611と同一。 FG45611と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG55721	構造力学II	1	2.0	3	秋AB	金3, 4	磯部 大吾郎	建設・土木・機械・航空・エネルギーなどの分野で重要な構造要素であるはり、板などにより構成された構造物を対象とした変位法について学ぶ。また、変位法の中でも近似解法の一種である有限要素法について学び、実習を行う。	FG45721と同一。 対面
FG55761	電磁力工学	1	2.0	2	秋BC	水5, 6	藤野 貴康	工学分野における電磁力応用の基礎について学ぶ。電気・力学系、電磁流体力学(MHD)、MHD加速・発電などの基礎を理解する。	FG45781と同一。 対面
FG55774	電力工学	4	2.0	3	秋AB	月1, 2	安芸 裕久、小平 大輔	電力系統(発電端から需要端まで)を対象として、主に電力輸送およびそれに伴う諸現象を解析的に理解することを目的とし、送電線・変圧器の等価回路、単位法や潮流計算を中心には、電力系統の定常特性および電圧・無効電力制御の基礎を講義する。	FG45774と同一。 実務経験教員 対面
FG55851	流体工学	1	2.0	3	春BC	金1, 2	文字 秀明、白川 直樹	管路および開水路内の非圧縮性流体の流れについて講述する。	FG45851と同一。 対面
FG55861	エネルギー機器学	1	2.0	3	秋AB	水5, 6	金子 晓子、文字 秀明	発電所などの大規模集中型エネルギー施設や冷凍・空調・コジェネレーションなどの小型分散型エネルギー設備などのエネルギー機器において用いられるポンプ・タービンなどのターボ機械やボイラ・熱交換機器などの熱機器の動作原理や熱流体現象について学ぶ。	FG45861と同一。 対面
FG55871	水素エネルギー工学	1	1.0	3	秋BC	火5	岡島 敬一	水素エネルギー利用システムにおいてキークロジーとなる燃料電池について、原理、電気化学に基づいた理想効率、起電力の計算方法、電圧-電流特性を理解するとともに、実際の機器としての応用と最新の動向を学ぶことを目的とする。	FG45871と同一。 FG45871と同一。 実務経験教員 対面
FG55881	燃焼工学	1	2.0	3	秋AB	火1, 2	大門 優	燃焼の基礎と応用を学ぶ。特に、火炎の基本的性質や汚染物質の生成機構、各種内燃機関中で生じる燃焼現象について詳しく解説する。	FG45881と同一。 対面
FG55911	建築環境工学	1	2.0	2 - 4	春AB	月1, 2	北原 博幸、金久保 利之	建築環境工学の基礎理論を論じるとともに、熱・空気・音・光環境の快適性を解説する。快適な建築環境の形成技術を理解させるとともに、地球環境時代における建築環境計画手法と持続可能なライフスタイルについて考察する。	FG45911と同一。 対面 世話人: 金久保
FG56781	環境リモートセンシング	1	1.0	3・4	秋AB	水2	武若 聰、児玉 哲哉、亀井 雅敏	リモートセンシングの原理、応用などについて概説する。大気圈、陸域、水域環境などの解析事例を学び、リモートセンシングの有用性を理解する。	FG46781と同一。 対面(オンライン併用型)
FG56791	地図気圧の環境論	1	1.0	3・4	秋AB	水3	羽田野 祐子	環境問題一般についての基礎知識を身につけ、自然環境における物質移動に関する工学的手法について学ぶ。	FG46791と同一。 対面
FG56821	エネルギー学入門	1	2.0	3	春AB	水3, 4	鈴木 研悟	世界が持続可能な発展を遂げていくためには経済成長の中で、省資源と環境保全を図る社会を築いていくことが求められている。本講義では、世界および我が国のエネルギー・環境問題を、資源、経済、環境の点から多角的・総合的に理解し、エネルギー・環境面から持続可能な社会発展の方向性とこれを実現するための技術開発のあり方について学ぶ。	FG46821と同一。 対面
FG59873	エネルギー・メカニクス専門実験	3	3.0	3	春ABC	火3-6	白川 直樹、金子 晓子、藤野 貴康、秋元 祐太朗、庄司 学、松田 哲也、西尾 真由子、金川 哲也、森田 直樹、安芸 裕久、大門 優	固体材料、流体、熱流体、燃料電池、内燃機関の実験を実施する。実験の計画、データの整理、結果の考察をレポートにまとめる演習を行う。	工学システム学類生に限る。 FG49873と同一。 対面 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 世話人: 白川直樹
FG59883	エネルギー・メカニクス応用実験	3	3.0	3	秋ABC	木3-6	新宅 勇一、亀田 敏弘、横田 茂、大栗 浩司、鈴木 研悟、小平 大輔	システム及び機器のデザイン能力・チームワーク力を養うために、小型エネルギー・システムの設計・製作・運用、マイコン制御の自律飛行船の設計・製作・運用を行う。	工学システム学類生に限る。 FG49883と同一。 対面 主専攻必修科目。 所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 世話人: 亀田敏弘

工学システム学類(その他)(JTP学生のみ対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
FG06041	工学システム特別講義	1	1.0	1	秋AB	金4		This course will review some introductory topics relevant to engineering, such as human-computer interaction, measurement, and control.	auditor students only オンライン(対面併用型)
FG06058	特別研究A	8	4.0	1	春ABC	随時	工学システム学類各教員	The students will conduct individual research under the supervision of a professor.	auditor students only 対面
FG06068	特別研究B	8	4.0	1	秋ABC	随時	工学システム学類各教員	The students will conduct individual research under the supervision of a professor.	auditor students only 対面